

今月のイチオシ



TENGU (文庫版)
柴田 哲孝 (著)
祥伝社

1974年秋、群馬県の寒村で起こった凄惨な連続殺人事件は、いったい何者の仕業だったのか？ 70年代の世界情勢、さらに2001年9.11米同時多発テロ事件にまで連関する壮大なミステリー！ 圧倒的評価を得て大藪春彦賞に輝いた傑作。



四つの愛の物語

ダイアナ パーマー (著) / 高橋 美友紀 (翻訳) ほか
ハーレクイン



みんなでたのしいクリスマス
クリア フリードマン (著) / ゆり よう子 (翻訳)
ひさかたチャイルド



新参者

東野 圭吾 (著)
講談社



獣の奏者 <全4巻>
上橋 菜穂子 (著)
講談社

公民館図書室利用時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



交流ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご
夫妻の登場者を募集していま
す。自薦・他薦は問いません。
皆さんどしどしご応募くださ
い。【問い合わせ】役場企画課
広報統計係 ☎24-5111
(内線32)

二人三脚で

50年

「お互い良く働いた50年」と振り返る、林太一さんと治子さんご夫妻。郵便局を40年務め上げた太一さん、入職当初は大きなガマ口の郵袋を肩にかけて、郵便物を背負い、歩いて配達をされたそうです。当時は振り返り太一さんは「特に大変なのは雪の日。雪で道がわからなくなり苦労した」と言います。

また、郵便局に勤める傍ら、早朝と夕方には、治子さんとともに農作業にも精を出され、さまざま野菜を市場に出荷。「朝一番で市場に野菜を出荷しに行くのが日課」でした。郵便局を退職後は、お二人で旬菜館にも野菜

を出荷されていたのだとか。そんなお二人の家には、太一さんの職場仲間や同級生などが集まり、常に大勢の人の輪があったといえます。子どもたちも巣立ち現在はゆつくり過ごすお二人。「気心の知れた人たちが周りにたくさんいるので、安心していられる」と言います。

「丈夫が一番」と語る太一さんと治子さん。「二人とも体が丈夫だったからこそ、一緒に来られた」と言います。

今後は「自分たちで食べる野菜は自分たちで作る、体を大切にしながら過ごしたい」とにっこりほほ笑んでいました。

「よく働いた50年」



林 太一さん (78歳) ・ 森下中
治子さん (78歳)
(昭和34年12月27日入籍)

みんなの オアシス

こんにゃくなべ

おいしかったです

昭和の秋まつりのこんにゃくなべがとてもおしかったです。

(M・A)

■お手紙ありがとうございました。今年の「昭和の秋まつり」も大盛況でした。ね。こんにゃくなべは今年もあつという間になくなってしまいました。いろいろな食べ物の誘惑がある秋まつり、仕事はその誘惑に耐えるのが大変でした。

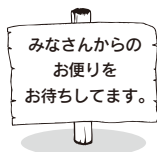
広報統計係

地域の行事取り上げて

地域の行事の情報などをとりあげてほしい！

(O・M)

■お手紙ありがとうございました。11月号ではかつぎまんどろを取材し、たくさんの方々にお世話になりました。



た。これからも、村民の皆さんとともに作る広報紙を目指していきたいと思えます。ぜひ皆さんからの情報をお待ちしています。

広報統計係

次回登場者紹介

中学校からの同級生で、いつもみんなのまとめ役。リーダー的存在です。

歳も同じ、職業も同じ農家。サッカーも一緒にやっているのでよく気の合う友達です。

これからも一緒にコンニャクづくりを頑張っていきましょう!!



はやし そういちろう
林 宗一郎 さん
(22歳・生越)



モ〜、うし年も終わりだねえ
(12月8日 赤城原)



今の心境

私は学校を卒業したことを機に農家を継いでいます。学生時代とは違い、充実した日々を送っています。毎日忙しい仕事の中、今私が思うことは「ありがとう」という親への感謝の気持ちです。

一生懸命働いて、私を育ててくれた両親を心から尊敬していますし、また親子3人で仕事が出来た事を幸せに思っています。

この2年間、色々な事がありました。辛い事もたくさんありました。そんな時も家族をはじめ、友達、先輩、後輩に支えてもらった私は幸せです。

これからも頑張っていけますので、皆さんよろしくお願ひします。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
次回の登場者は、飯塚 翔太さん(22歳・入沢)です。